

産業競争力懇談会COCNフォーラム 2019
これからのスマートシティについて考える

スマートシティとモビリティ

2019.7.16

筑波大学名誉教授・日本大学特任教授
(一財)日本みち研究所 理事長

石田 東生

都市の流れと人体の流れ

人体	都市・社会	交通	ライフライン	通信
消化	— 物流	○		
呼吸系	— エネルギー	○	○	
循環系	— 上下水道, 廃棄物	○	○	
リンパ系	— 防災, 緊急	○		○
神経系	— 情報	○		○

流=広義の交通がなくなれば、
都市は活動を停止する

フィジカル
人とモノのモビリティ

サイバー
データ、バーチャル

ともに、スマートシ
ティの最重要な要素

人の幸せ

生存

生命・衣食住

安寧なくらし
強靱な国土・空間

生きがい

学・働・育・遊・交

社会的存在としての人間
支えるモビリティ

人に、産業に、地域にモビリティは必須
そして、モビリティを取り巻く状況は急速に変化
自動運転(CASE),MaaS,シェアリング、

ところが、モビリティの現在

- 剥奪されるモビリティ
 - 衰退する公共交通、危ない道路、CO2削減、免許返納運動、・・・
- モビリティ産業の危機
 - 自動車産業も危機(モビリティ産業への変身宣言)
 - バス・タクシー・トラック
 - 夢がない産業群 ドライバー不足・投資不足
 - モビリティ剥奪の原因でもあり結果
- モビリティを支えるインフラの現状
 - 道路 低いサービスと機能
 - 高速道路も、幹線道路も、生活道路も、駐車場もターミナルも
 - 公共交通を支える制度・ビジネスモデル
- 結果的に、地域の存続にも赤信号
 - 住めない・活躍できない
 - **モビリティ技術(車両・空間・制度・受容性・システム統合技術)を含むスマートシティ技術の大変革が必要**

ありたい「まちと交通」の姿

活力と魅力にあふれるまち
環境負荷がほとんどないまち
モビリティディバイドのない社会
世界のリーディングモデルに
地域産業にも貢献

自由に、自立して、安全・快適に、
環境・他人・まちにやさしく、みんなが移動できる

それを実現するモビリティサービス
MaaS、シェアシステム、自動運転、・・・

MaaSの社会実装を目指して

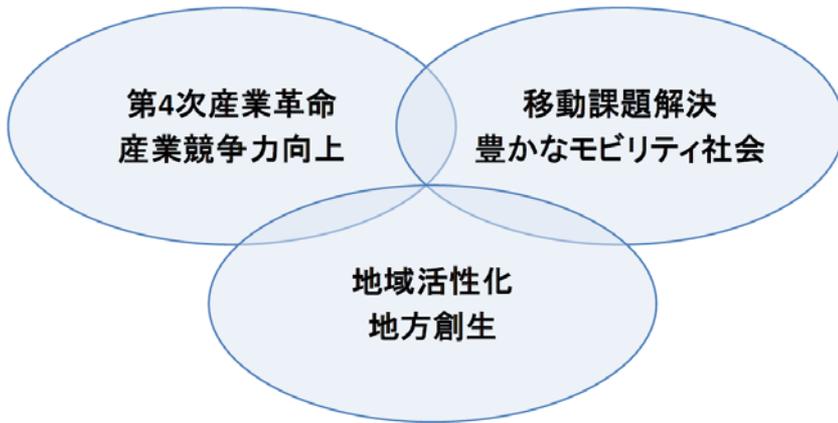
未来投資会議、その他の委員会での議論を踏まえて



- 政府の検討状況 私が参画しているもののみ
 - － 経済産業省
 - IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会
 - － 国土交通省
 - 都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会
 - － 未来投資会議(首相官邸) 次世代モビリティ産官協議会
 - － 経済産業省・国土交通省連携
 - スマートモビリティチャレンジ推進協議会
- 民間・自治体によるさまざまな取り組み

基本的方向の確認 掛け算・相乗効果

AI/IoT×モビリティサービス推進の意義



ポイント： **A** と **B** の掛け算でシナジーを作る

公共交通 × 自家用車

サイバー × フィジカル

MaaS × Autonomous

モビリティ × 非モビリティ

自治体・域内事業者 × 域外事業者

経済産業省 IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会 資料より作成

府省の掛け算

未来投資会議(内閣官房)・国土交通省との連携を意識しながらの産業政策

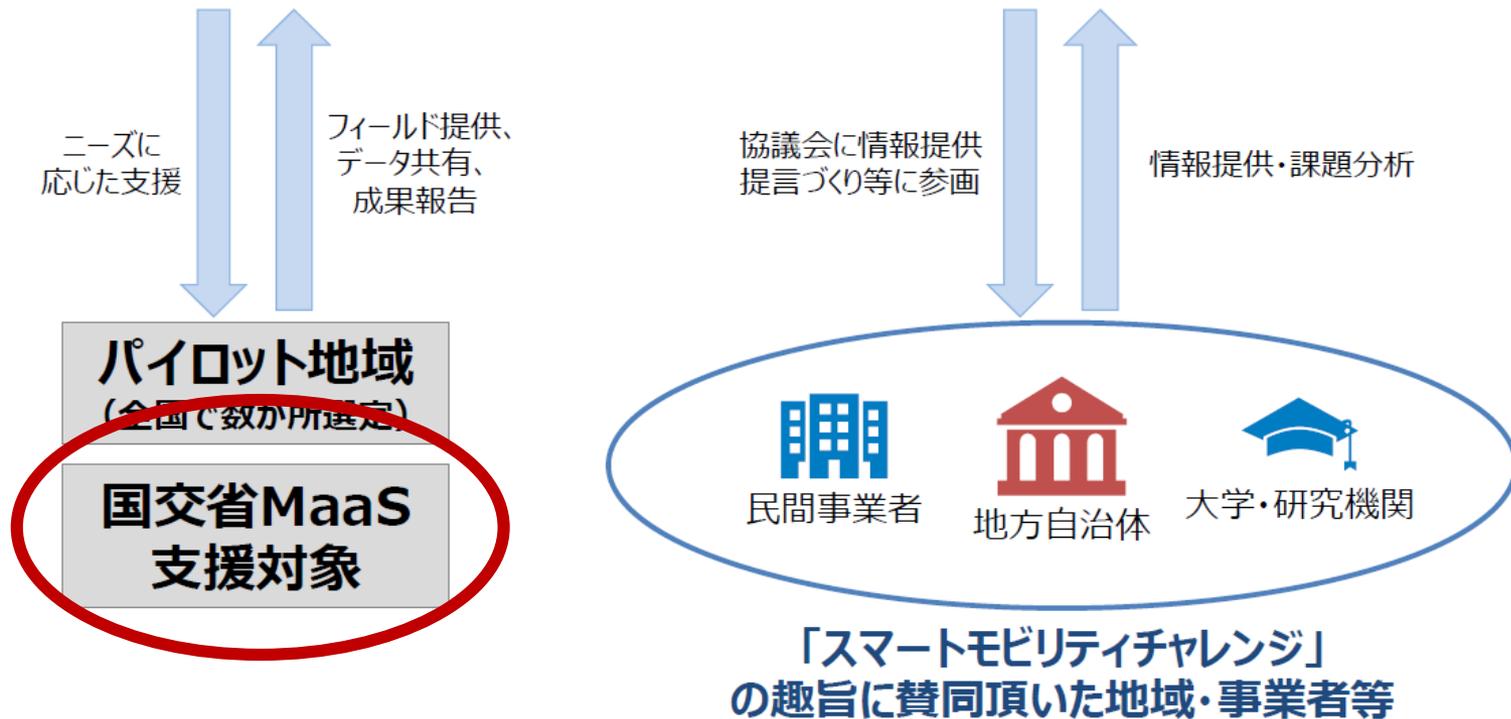
多様な動きの掛け算

動きの速い新しい分野と伝統的分野の連携・掛け算を意識

実際、2019年度には国交省・経産省が連携しつつ、プロジェクト推進

2019年度からの推進方法

「スマートモビリティ推進協議会（仮称）」 情報共有、地域・事業者マッチング、成果共有、課題抽出等



人の幸せ、地域・産業の活性化への肉薄

人の幸せ

生存
生命・衣食住

安寧なくらし
強靱な国土・空間

生きがい
学・働・育・遊・交

社会的存在としての人間
支えるモビリティ

企業・地域

存続すること
生産性、BCP

構成員の幸福

「どこでも、だれでも、いつでも」の実現と負担の形
Inclusion and Sharing

新たな技術・政策の取り込み

データ戦略

制度技術への切り込み

新しい評価と受容性(個人情報)

連動・協働

政府機関

産業

市民